

INVITATION

Ehime University Hospital [愛媛大学医学部附属病院広報誌]

VOL

39

2015

患者さんと向き合ったサービスを目指して

DOCTOR'S VOICE 01 患者さんに寄り添う薬剤部でありたい

DOCTOR'S VOICE 03 ハイブリッド手術室でチーム医療

DOCTOR'S VOICE 02 優しい病院食を

DOCTOR'S VOICE 04 愛媛医療センター院長に聞く



新たなる躍進への決意

—平成27年 末年—

The Great Hospital —Advanced Stage—

夢の病院へ

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。旧年中は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当院は、愛媛に育ち、世界に伸びる大学病院として、地域の方々から愛され、信頼されるオンリーワンの三ツ星ホスピタル(★最高の医療、★最高の病院運営、★最高のホスピタリティー)を目指し、邁進していきますので、本年もご支援の程宜しくお願い申し上げます。

愛媛大学医学部附属病院長 檜垣実男

医学部附属病院紹介「薬剤部」

薬が扱われる場所全てに、薬剤師がいる体制を

薬剤部 教授 荒木博陽

大学病院では最先端の医療を行っているため、メーカーが開発した新薬を多用する傾向があります。ただ、新薬は高価で医療費全体を押し上げるため、医療費の増大が国全体で問題になりました。その解決策の1つとして当院では、ジェネリック医薬品（後発医薬品）を積極的に使い、医療費を削減する方針を打ち出しました。薬の費用を下げる事で、新しい設備投資や病院のインフラ整備、患者さんのケアに繋げていくことができます。

また、入院される患者さんには服用中の薬は持参するよう依頼していて、薬の管理状況などを確認し、最終的に使える薬は使っています。以前は薬剤師が少ないため、医師や看護師が薬の鑑別をしていましたが、薬剤師が担当することにより、医師や看護師の負担が減り、患者さんに向き合う別の業務ができるようになりました。最も大事なことは薬に関する医療事故の防止です。薬剤師は全ての薬をチェックしています。院内の医師向けのセミナーや、市民公開講座など一般向けの講座での啓発も薬剤師の使命だと思い、積極的に開催・参加しています。緩和医療で四国初となる薬剤師中心の全国大会（第8回日本緩和医療薬学会年会）も松山で開催しました。

薬剤部で毎年掲げている、今年のモットーは「思いやりの気持ち」です。病棟での入院患者さんに対する服薬指導の充実、これまであまり関わらなかった外来患者さんの支援等、患者さんにとって優しい薬剤部でありたいと考えています。



PROFILE

あらかしひろあき◎1975年九州大学薬学部製薬化学科卒業。薬学博士。大正製薬株式会社、岡山大学医学部附属病院薬剤部助教授・副薬剤部長を経て2002年から当院へ。趣味は園芸（家庭菜園を含む）、ゴルフ。

医学部附属病院紹介「栄養部」

美味しかったです、ごちそうさまでしたと言われる病院食

栄養部 部長 利光久美子

病院食は、入院中という食欲がわかない中、雰囲気もない病室で召しあがっていただきます。調味料に制限があり、自分の好きなメニューでないこともあります。そのため、食べていただくための着眼点は、治療食を感じさせない「メニュー構成と味」になります。そこで、老若男女が受け入れられる優しい味を求めてホテルJALシティ松山を運営するマーチャント・バンカース株式会社と連携したのは平成23年4月のことです。その後、患者さん全員を対象にした嗜好調査では「80%の満足」という高得点をいただきました。嗜好や、病状による嗜好の変化もある中での数字です。以前はクリームが多い時期もありましたが、今は毎日患者さんから、「何々が美味しかった」「全部食べられました」という嬉しい声が届いています。



また、好評なのが「特別メニュー」（左写真）です。有名な料亭やホテルで経験を積んだ料理人が担当し、料理人自らが患者さんのもとまで食事を提供します。退院前の記念に召し上がられる方が多いようです。今後も、栄養部全体で温かさと優しさを感じていただける食事を提供していきます。



PROFILE

としみつくみ◎管理栄養士・病態栄養認定管理栄養士。NSTコーディネーター、NST栄養専門療法士、糖尿病療養指導士、がん病態栄養専門管理栄養士、日本病態栄養学会学術評議員、日本静脈経腸栄養学会代議員。愛媛大学大学院連合農学研究科（学術博士）卒。2011年6月から現職。趣味は美術館巡り。

医学部附属病院のここがすごい「手術部」

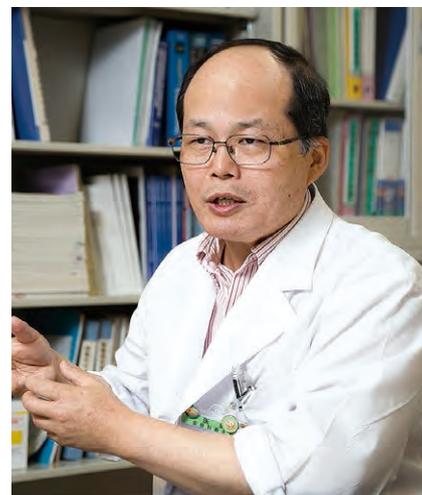
チーム医療の推進により更なる手術医療の安全確保と質の向上を

手術部 部長 萬家俊博

手術部に、13番目の手術室としてハイブリッド手術室が加わり、昨年5月から稼働しています。従来の手術室の機能に加え、放射線透視装置を備えた手術室となっており、カテーテルによる内科的治療と手術という外科的治療を組み合わせた（ハイブリッド）形の治療が可能です。患者さんの治療には、内科医、外科医、麻酔科医等が総合的に協力する体制をとっており、大きく治療技術が進歩した心臓・血管治療に対応することが可能です。例えば、腹部大動脈瘤に対するステント留置手術に適しており、従来ならば大きくお腹を切る手術が、小さな切開だけで済み、手術時間も短く、術後の回復も早くなります。近い将来、当院で経カテーテル的大動脈弁置換術という最新の治療を行うようになった際、この手術室の機能が最大限に活用されることになります。



手術部では、すべての手術室において多職種の職員がチームとして協力し、手術を受ける患者さんの安全確保に努めています。今後もチーム医療を推進し、手術医療の安全の確保と、最新で最善の手術医療による質の向上の両立を目指していきたくと考えています。



PROFILE

よろずやとしひろ◎1984年愛媛大学医学部医学科卒業。附属病院で麻酔科研修後、県立今治病院、附属病院、県立中央病院を経て、1997年より当院へ。2010年より現職。専門は心臓麻酔。シミュレータを駆使した医学教育に熱血を注ぐ。

愛媛大学医学部附属病院に期待すること『VIP DOCTOR に聞く』

愛媛に医者を残す、医者の確保に最も期待しています

愛媛医療センター院長 岩田 猛

愛媛大学医学部附属病院に期待することは3つあります。1つ目は県内医師の確保です。現在も様々な取り組みをされていることは存じています。それでも県内の医師の数は足りていません。この状況は暫く続きます。取り組んでいる複数のプロジェクトを進め、関係機関と知恵をだしあい、新しい対応策の実施を期待しています。2つ目は医療の連携強化です。当センターは附属病院に隣接しているといってもいいくらい、近い場所にあります。附属病院では予約を取りにくいCT、MRIの検査をセンターで行う、センターで対応できる手術はセンターですといった連携が可能です。3つ目はスタッフの交流です。研究会・講演会を互いの施設を利用して共同で開催できたらと考えています。

当センターは松山市医師会等からの要望もあって、二次救急輪番制に平成28年度からの参加を考えています。今年はその準備の年になりますが、24時間救急医療ではスタッフの疲労を心配しています。今までの急性期医療の役割に加えて、救急医療を行うためには附属病院からの人的なサポートが必要です。また、救急時に応援医だけでなく研修医も派遣してもらい、研修医の指導もできないだろうか検討中です。

これからも当センターは、患者さんに信頼される医療の提供と、スタッフが働きやすい、働きがいのある病院を目指していきます。今後とも、ご理解ご協力をお願いします。



PROFILE

いわたたくる◎高知県出身。1980年愛媛大学医学部卒業後、第二内科に入局。貞本病院、旧吉田町病院を経て、アメリカに2年間留学。帰国後、市立八幡浜病院に16年間勤務し、2008年から愛媛病院勤務。2011年から現職。趣味はゴルフ、釣り、スキー。

愛媛大学医学部附属病院 トピックス

お気軽にご相談ください

第11回全国国立大学法人病院 診療支援部(技術部)会議を開催



本会議は、日常業務における問題点や各病院の情報を共有して改善に繋げ、より良い医療を提供することを目的としており、今回は当院が主体となって開催し、診療支援部の導入を検討している病院を含む30病院が参加しました。会議では、特別講演や「卒前卒後教育の取組と課題」「医療技術職員の研修状況及び支援体制」をテーマにパネルディスカッション等が行われました。今後もより良い医療の提供を目指し「患者さんに安心・満足していただける医療の実現」に努めていきます。

総務課総務チーム ☎089-960-5125

無料タクシー運行中



当院では、平成22年から患者さんへのサービスの一環として、伊予鉄横河原線愛大医学部南口駅から附属病院正面玄関までの区間を9人乗りジャンボタクシーで無料送迎しています。運行時間は平日8時30分から14時30分までとなっていますので、当院にお寄りの際は、是非ご利用下さい。

※12時30分から13時まで、昼休憩のため運行休止しています。

医療サービス課 ☎089-960-5099

クリスマスコンサートを 開催



平成26年12月10日(水)、当院のレストラン「愛彩館」にて、クリスマスコンサートを開催しました。このコンサートは「がん患者・家族サロンあいほっと」の認知と、患者・家族・地域の方々に楽しいひと時を過ごしていただくことを目的として開催しています。今年は土居裕子氏による歌の披露、貞光裕美子氏によるピアノ演奏があり、入院患者さんをはじめ、多くの方々に楽しい時間を過ごしていただくことができました。

医療サービス課
☎089-960-5099

地域医療再生セミナーを開催



平成26年12月1日(木)、当院地域医療支援センター主催で第4回地域医療再生セミナーを開催しました。本セミナーは県内各地域の医療体制の現状と展望、地域医療における機能分担や医療連携について、関係者の皆様に理解を深めていただくこ

とを目的とし、毎年開催しています。

セミナーでは、まず当院地域医療支援センターの活動報告があり、地域医療に関する講座を担当している教授・准教授の5人から各講座の現状や、取組等の講演がありました。続いて、「地域医療の充実・発展を目指して」をテーマにパネルディスカッションを行いました。会

場には県内各市町の行政機関、連携病院等からの参加を含む約140人の参加があり、活発な意見交換が行われました。

当センターでは今後も地域医療に従事する医師の確保、定着を図り、地域偏在の解消を目指します。

地域医療支援センター ☎089-960-5990

編集後記

新年明けましておめでとうございます。表紙は毎年恒例となっている仕事始め式での集合写真です。

さて、本号では薬剤部の荒木部長、栄養部の利光部長、愛媛大学医学部に期待することについて愛媛医療センター院長岩田猛先生からお話を伺っております。また、本号から「医学部附属病院のここがすごい」と題し、附属病院の誇る各施設を紹介するコーナーを掲載します。今回は手術部の萬家部長からハイブリッド手術室について紹介していますので、是非ご覧ください。

また、この場をお借りして連携病院の皆様へご連絡申し上げます。平成27年3月7日(土)に第27回連携病院長会議を開催します。(※日程等詳細は当院ホームページをご覧ください。)

広報委員会委員長 高田清式

◎表紙

— 仕事始め式にて —



愛媛大学医学部附属病院

〒791-0295 愛媛県東温市志津川 ☎089-964-5111 (代)
ホームページ <http://www.hsp.ehime-u.ac.jp/>